

## 2016JR総連春闘を職場から闘おうシリーズ③

**賃上げ・夏季手当・諸手当・労働条件改善！**

# 2016JR総連春闘交渉スタート

本部は2月23日、「2016年度賃金引き上げ、夏季手当および諸要求の申し入れ」（申第18号）に基づく、第1回団体交渉を開催しました。

### **現場社員の努力に対して口先ではなく実をもって応えよ！**

団体交渉で本部は、要求趣旨について「会社は業績が好調でさらに法人減税があるにもかかわらず、要求に見合った賃上げや年末手当、諸手当、労働条件を改善することなく、儲けをひたすら蓄えに回している。好調の原動力である社員の努力に一切応えない姿勢は、必ず会社に暗雲をもたらす。会社が、経済に対する不安を理由に賃上げを抑えようとしているが、経済を止めている根本的な原因はまさに会社にある。今年こそは現場で働く社員の要求にしっかりと応えること。又、専任社員の雇用条件、労働条件を改善し、今後貴重な労働力となる高齢労働者が安心して働けるようにすること」等主張しました。

一方会社は、「現時点経済の先行きが不透明であるため、堅調な経営状況であっても楽観はできず、経営体力を強化する。賃金水準はすでに相当高いレベルにあり、これ以上賃金や諸手当を改善する合理的、客観的な理由は見いだせない。夏季手当についても慎重な判断が求められる」と主張しました。

### **リニアを理由とした賃金抑制、労働条件の悪化を許さない！**

以上のように、組合と会社の主張は、真っ向から相反するものとなっています。会社は、現場で働く社員が努力して会社の好調を支えていると口では言っても、結局何もその努力に応えようとしていません。会社は口には出さないものの、「これからリニアに金がどれだけかかるか分からない。これからは絞るだけ絞っていく」と考えているのではないのでしょうか。全てはリニア中央新幹線のために…というようなことは絶対あってはならないことです。このような会社姿勢を許すことなく、JR東海労は皆さんの先頭に立って要求貫徹に向けて奮闘します。

第2回団体交渉は2月29日（月）に開催します。